



# 長崎市「GIGA スクール構想」～令和の学びのあじさいスタンダード～未来社会の創造を営む長崎の新しい教育

保護者用

## 「GIGA スクール構想」で、令和時代の新たな学びが始まります。

これからの社会は、あらゆる場面で情報データのやり取りが行われ、スマートフォンやタブレットなどの ICT 機器が必需品となります。

長崎市「GIGA スクール構想」では、一人一人の学習のスピードや理解、課題に応じた「一人一人に合わせた学び」や、自他の考えを広げ、深めて新たな考えを生み出す「**創造性を育む学び**」を実践するために、学習者用コンピュータを活用していきます。

さらに、そのような社会を力強く生き抜くために、「**情報活用能力**」を基盤に、人・もの・ことと**つながり**、段階的に学びを柔軟させながら、これからの子どもたちに必要な資質となる「**自主・自立**」「**共生・協働**」を培っていくことを通して、未来の長崎を創り、社会を支える担い手を育成します。

### 使用する学習者用コンピュータの特長

使用機種：Google Chromebook

特長：①クラウドで作業を行うため、セキュリティが高い。

②起動がとても速く、使いたいときにすぐ使うことができる。

③教育機関向けソリューション「Google for Education」が有効活用できる。

キーワード「**つなげる**」「**つながる**」

これまでの学びと新たな課題を「**つなげる**」。他者と「**つながり**」、共に学び合い、高め合う。



ベストミックス

未来の長崎を創り、社会を支える担い手を育成する。

## ステップ3

学んだことを日常生活に**つなげる**ことで、課題の解決や一人一人の夢の実現に活かす。(情報活用能力を発揮する。)



課題を解決する中で、自分自身の生き方について考える。

## 授業時間以外の活用

### 家庭での活用

- 学校からの課題に取り組む
- 自主学習に取り組む(クラウドのデータを活用)

### オンライン参観、参加

- 授業参観
- 全校朝会
- 児童(生徒)集会
- 講演会

### 臨時休校時における学びの保障

- 「同時双方向型」と「オンデマンド型」を組み合わせたオンライン授業
- クラウドで課題のやり取り

## ステップ2

これまで学んだことや、他者と**つなげた**学びを繰り返す行うことで、「一人一人に合わせた学び」や「**創造的な学び**」が実現する。(情報活用能力を高める)



ホワイトボードの機能を活用して、互いの考え方を見比べて、より良い方法を考える。

実技の動画をクラウドに保存し、自分の課題の発見やこれまでの活動の成果を確認。

校外学習の様子を写真や動画で記録しておき、学校でのまとめの活動や発表に活かす。

実験を動画や画像で残し、まとめや発表活動に利用する。また、復習においても活用する。

ALTが発音する音声データをクラウドに保存し、いつでも発音練習に活用することができる。

これまでの学び

+

ICT

↓

令和の新しい学び

### 「一人一人に合わせた学び」

「いつでも、どこでも、だれでも」学習者用コンピュータを活用できるので、一人一人のスピードで学習が進められる。また、先生は一人一人の学びを確実に把握できるので、子どもたち一人一人に的確な助言を行うことができる。

### 「創造性を育む学び」

学習したことや友達との考え、根拠になり得る情報を比較検討することで、考えが深まることにも、新たな考えや作品を生み出すことができる。

## ステップ1

インターネットに**つなぎ**、友達や先生と**つながる**ことで、「一人一人に合わせた学び」「**創造的な学び**」を体感する。(情報活用能力の基礎を身に付ける)

インターネットを活用して、調べ活動を行う。

写真や動画を撮って、クラウドに保存する。

教科書のQRコードを検索し、内容の理解を深める。

友達の考えと自分の考えを見比べる。

先生から転送された課題や資料を基に学習を行う。

クラウドにアクセスして、必要なデータを閲覧する。

文章や図を作成し、クラウドに保存する。

クラウドにあるデータを取り出して加工する。

友達と共同編集を行い、作品を完成させる。

課題や自分の考えを電子データで先生に提出する。

「情報活用能力」：場面に応じた情報や情報手段を主体的に選択し、活用していかうとする力

## 「長崎市GIGAスクール構想」の実現に向けての計画

	第1段階	第2段階	第3段階
学校での活用	児童生徒及び教職員のスキルアップ 授業での活用についての実践研究	学習内容に応じた常時活用	
家庭での活用	長崎市における基本ルール策定	各学校のルール作り	持ち帰っての活用の開始
	臨時休校や心身の不調による長期欠席の児童生徒に、オンライン授業を実施する。		